

疫学情報 2019年11月7日分

<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2019/10/23/22.html>

東京都福祉保健局

2019年10月23日

令和元年度 第3回食の安全都民講座の開催「見て、知って、防ぐ 食品を汚染するカビ」
東京都では、食の安全に関して都民の皆様と相互理解を図ることを目的として、少人数での講義や体験を中心とした「食の安全都民講座」を開催しています。

令和元年度第3回は、食品を汚染するカビと、その発生を防ぐ方法をテーマに開催します。皆様の御参加をお待ちしています。

1 開催内容

テーマ：見て、知って、防ぐ 食品を汚染するカビ

日時：令和元年11月26日（火曜日）13時30分から16時30分まで

場所：東京都健康安全研究センター 本館6階

内容：食品を汚染するカビに関する講義及び観察実験

<https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo/uketsuke/sform.do?acs=tominkoza0103> 講師 NPO
法人カビ相談センター理事長 高鳥浩介氏

観察・実験

講師と共に様々なカビを実際に顕微鏡で観察します。

食品に有用なカビの観察、食品を汚染するカビの観察等

2 応募資格及び募集人数

都内在住、在勤又は在学で、年齢18歳以上の方（定員40名）※参加は無料です。

※応募多数の場合は、抽選により決定します。

3 申込み方法

電子申請又は往復はがきによりお申し込み下さい。

電子申請の場合

以下のページにお申込み用のリンクがあります。

パソコン (<https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo/uketsuke/dform.do?acs=tominkoza0103>)

スマートフォン

(<https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo/uketsuke/sform.do?acs=tominkoza0103>)

往復はがきの場合

<往復はがき記載方法> (別添チラシ (PDF: 574KB) 裏面参照)

往信 (表面)

〒169-0073 新宿区百人町3-24-1

東京都健康安全研究センター企画調整部 健康危機管理情報課 食品医薬品情報担当

往信 (裏面)

- 1) 催し名「第3回食の安全都民講座」、2) 住所、3) 氏名（ふりがな）、4) 年齢、5) 職業、
- 6) 電話番号、7) 手話通訳を希望される方、車いすでの参加を希望される方、介助者がいら

つしゃる方はその旨、託児を希望される方はその旨及び託児を希望する子供の年齢と人数

返信（表面）：申込者の住所及び氏名

返信（裏面）：白紙のまま御郵送ください。

4 締め切り

令和元年 11 月 13 日（水曜日）当日消印有効

※参加の可否は、11 月 19 日（火曜日）までにお知らせします。

問い合わせ先

東京都健康安全研究センター企画調整部健康危機管理情報課

https://www.afpbb.com/articles/-/3252645?cx_part=search

はしか感染で免疫システム「リセット」、米研究で明らかに 【11 月 1 日 AFP】

世界的に再流行している麻疹（はしか）は、これまで考えられていた以上に害が大きい——1 日付の米科学誌サイエンス（Science）に掲載された研究で、はしかウイルスが免疫システムを「リセット」することが分かった。

はしかは子どもがかかりやすい感染症で、人から人へ感染する。ハーバード大学（Harvard University）の研究者らが率いる国際チームは、はしかの予防接種を受けていないオランダの子ども 77 人を分析。はしかウイルスが体からこれまでにさらされた病原体に関する記憶を削除し、免疫記憶を実質的に消し去ることを明らかにした。はしかウイルスは、過去にかかった病気を「記憶」する血液中のタンパク質である抗体を 11～73%消し去る。免疫力が新生児ほどにまで低下する子どももいた。

共著者の一人でハーバード大学のマイケル・ミナ（Michael Mena）氏（疫学）は AFP に対し、ウイルスは「免疫システムをより無知な状態にリセットするようなものだ」と述べ、抗体を復元するには、幼年期に触れた無数の病原体に再びさらされる必要があると説明した。

結果を実証するために行われたマカクザルを使った実験で、被験体は抗体の 40～60%を失った。共著者の一人で米ハワード・ヒューズ医学研究所（HHMI）のステファン・エレッジ（Stephen Elledge）氏は、「（はしか）ウイルスは私たちが理解していたよりもはるかに有害だ。ワクチンがいつそう有益なものとなる」と述べた。

https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000183582_00005.html

令和元年 11 月 1 日 厚生労働省 健康局結核感染症課エイズ対策推進室
世界エイズデーに向けた普及啓発イベントを実施します

厚生労働省は、12 月 1 日の世界エイズデーに向け、公益財団法人エイズ予防財団やエイズ関連 NGO 等の関係団体の協力を得て、普及啓発イベントを実施します。

また、各都道府県、保健所を設置する市及び特別区においては、関係機関等と連携し、エイズに関する正しい知識の啓発活動を展開します。

■世界エイズデーとは

世界保健機関（WHO）は、1988 年に世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感

染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12月1日を“World AIDS Day”（世界エイズデー）と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱しました。我が国としても、その趣旨に賛同し、毎年12月1日を中心にエイズに関する正しい知識等についての啓発活動を推進しており、全国各地で様々な「世界エイズデー」イベントが実施されています。

〈イベント等概要〉 ※詳細は別添のとおり

(1) 世界エイズデーイベント RED RIBBON LIVE 2019

～ 検査に行く人、ナイスなっし～！ ～

日時：令和元年11月28日（木）18:30～21:00（予定）

会場：マイナビ BLITZ 赤坂（東京都港区赤坂5-3-2 赤坂サカス内）

(2) 街頭キャンペーン

日時：令和元年12月1日（日）13:30～15:30（予定）

場所：渋谷駅 ハチ公前周辺

(3) HIV（エイズ）無料検査

日時：令和元年12月1日（日）10:30～18:00（受付10:30～12:00、14:00～15:30）（予定）

場所：シブヤ・ネクサス（東京都渋谷区道玄坂2-9-9 梅原ビル6階）

別添

世界エイズデーイベント RED RIBBON LIVE 2019 ～ 検査に行く人、ナイスなっし～！ ～

1 開催日時： 令和元年11月28日（木） 開場18:00 開演18:30～21:00（予定）

2 開催場所： マイナビ BLITZ 赤坂（東京都港区赤坂5-3-2 赤坂サカス内）

3 出演者 蒼井そら、一徹、押尾コータロー、小林麻耶、しみけん、高倉俊二、二丁目の魁カミングアウト、ふなっしー、村西とおる、wacci、山本シュウ（50音順）

※随時、告知サイトにて出演者情報を更新予定

4 実施内容

ラジオDJ山本シュウ（レモンさん）の呼び掛けに賛同したアーティスト、タレントが、トークとライブにより、幅広い世代の人々に予防啓発のメッセージを発信

(1) タレント、医療関係者によるHIV／エイズに関するトーク

(2) アーティストによるライブ

(3) イベントの様様をニコニコ動画等により生中継（予定）

後日、一部動画をアーカイブ配信（予定）

※告知サイトに生中継、配信を行うサイトのリンクを掲載

5 参加費 無料（抽選による招待制）

6 参加方法 抽選で500名を招待

募集期間 11月1日（金）17:00～11月17日（日）23:59

告知・応募サイト 「RED RIBBON 2019」オフィシャルサイト

<http://redribbonlive.net/>

7 主催 厚生労働省

街頭キャンペーン

1 日時 令和元年 12 月 1 日 (日) 13:30~15:30 (予定) ※荒天時は中止する場合あり。

2 場所 渋谷駅 ハチ公前周辺

3 参加団体 厚生労働省、公益財団法人エイズ予防財団、東京都、渋谷区、民間企業、ボランティア等 (予定)

4 実施内容

公益財団法人エイズ予防財団作成のリーフレット、コンドーム、検査チラシ等をセットにして配布し、HIV/エイズに関する正しい知識を啓発し、HIV 検査の受検を促進

HIV 無料検査

1 日時

令和元年 12 月 1 日 (日) 10:30~18:00 (受付 10:30~12:00、14:00~15:30) (予定)

※検査は事前予約優先、先着 100 名まで

2 場所 シブヤ・ネクサス 東京都渋谷区道玄坂 2-9-9 梅原ビル 6 階 JR 渋谷駅ハチ公口徒歩 2 分

3 検査主体

公益財団法人エイズ予防財団、特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター、渋谷区保健所 (共催)

4 検査の種類

即日検査 (検査結果は当日お知らせ)

5 予約方法 事前予約制 携帯サイト予約又は電話予約が必要

<携帯サイト予約>

受付期間: 11 月 5 日 (火) 0 時 0 分から 11 月 30 日 (土) 23 時 59 分まで

URL: <http://www.npo-jhc.com/shibuya-kensa/>

<電話予約>

受付期間: 11 月 8 日 (金)、11 月 15 日 (金)、11 月 22 日 (金)、11 月 29 日 (金)

12 時~18 時

電話番号: 03-5259-0255

※当日、予約枠に空きがある場合、会場でも受付可能

その他啓発及び情報提供について

1 エイズ啓発ポスターの掲示

- ・全国的なエイズ啓発活動を推進するため、世界エイズデーポスターコンクールを実施
- ・小学生、中学生、高校生、一般の部門から、最優秀作品を 3 作品選出
- ・最優秀作品の中から選出された 1 作品を、世界エイズデーポスターとして、官公庁、

地方公共団体、エイズ治療拠点病院、映画館等に掲示

2 厚生労働省ウェブサイトにおける啓発

厚生労働省ウェブサイトにおいて、以下の情報を掲載

(1) 世界エイズデーの概要

(2) 厚生労働省が主催するイベント等の案内

厚生労働省ウェブサイト

<https://www.mhlw.go.jp/>

3 「RED RIBBON LIVE 2019」オフィシャルサイトによる啓発

オフィシャルサイトにおいて、次のような情報を掲載

(1) 「RED RIBBON LIVE 2019」に関する案内

(2) 著名人のエイズ啓発に関するメッセージやコメント等

(3) その他 HIV／エイズの予防啓発に関する情報

「RED RIBBON LIVE 2019」オフィシャルサイト

<http://redribbonlive.net/>

4 エイズ予防情報ネット

エイズ予防情報ネット (API-Net) において、通常の予防啓発に関する情報に加え、世界エイズデー前後の期間に全国の自治体で実施されるイベントや HIV 検査・相談等に関する情報を掲載

エイズ予防情報ネット (API-Net)

<http://api-net.jfap.or.jp/>

※イベント、HIV 検査・相談等に関する情報は随時更新予定

https://www.asahi.com/articles/ASMC15G3VMC1UTPB015.html?iref=pc_ss_date

静岡県の女性がジカウイルス感染 拡大の可能性はなし

朝日新聞 apital

2019年11月2日12時00分

静岡県は1日、海外に渡航していた掛川市の30代の女性がジカウイルス感染症と診断されたと発表した。女性はすでに回復しており、帰国後に蚊に刺されていないことから感染拡大の可能性はないとしている。医師から保健所への届け出が義務化された2016年以降、県内での感染は初。

県疾病対策課によると、女性は10月20～22日にかけてタイのバンコクとアユタヤを観光し、23日に帰国。26日に頭痛に襲われ、27日には全身にかゆみを伴う発信ができたため、30日に県西部の医療機関で受診した。医療機関から届けられた検体を西部保健所が検査した結果、31日にジカウイルスが検出されたという。

ウイルスは妊婦が感染すると小頭症の子どもが生まれる可能性があるが、女性は妊娠していないという。ウイルスは中南米や東南アジアで流行しており、県が注意を呼びかけている。

(増山祐史)

<https://www.city.adachi.tokyo.jp/juyo/191101gankensin.html>

足立区衛生部データヘルス推進課健診事業係 更新日：2019年11月1日

区が足立区医師会に委託して実施している、40歳以上の区民を対象とした「大腸がん検診（免疫便潜血検査2日法）」において、足立区医師会加盟の医療機関が、検診を受けた区民の方のうち、107名（※1）の方に、「陽性」を「陰性」と誤って記載した受診票（※2）を渡していたことが判明しました。

（※1）11月1日時点で区が把握している人数（暫定数）

（※2）がん検診の受診結果等を記載する紙

1 結果に誤りが判明した検診

（1）検診名：平成30年度大腸がん検診（免疫便潜血検査2日法）

（2）対象者：40歳以上の区民（253,898名）

（3）実施期間：平成30年4月1日から平成31年2月28日

（4）受診者数：46,747名

（5）医療機関数：区内228の医療機関（30年4月1日現在）で受診可能（30年度227の医療機関で検診を実施）

（6）誤った経緯：検診を実施する医療機関で検体（便）を預かり、検査会社で検査を実施し、各医療機関に検診結果を通知。結果を受けた医療機関は、受診票に結果を転記し、各受診者に対して検査結果を通知（郵送での結果通知も含む）していますが、「陽性」と転記すべきところを誤って「陰性」と転記し、通知してしまいました。